

ところざわ倶楽部
第14期定期総会資料

2020年11月25日（水）

新所沢公民館ホール

目 次

1. 第 13 期ところざわ倶楽部総括	P 3
2. 第 13 期活動報告	
2-1 総務部報告	P 6
2-2 事業部報告	P 7
2-3 広報部報告	P 8
2-4 サークル活動報告	P10
3. 第 13 期会計報告および監査報告	P17
4. 第 14 期役員改選 (案)	P18
5. 第 14 期ところざわ倶楽部活動方針 (案)	P19
6. 第 14 期活動計画 (案)	
6-1 事業活動計画 (案)	P20
6-2 広報活動計画 (案)	P21
7. 第 14 期予算 (案)	P22

1. 第13期 ところざわ倶楽部総括

“新型コロナウイルス感染拡大の中で、活動の自粛が余儀なくされた年でした”

ところざわ倶楽部会長 佐藤 重松

2020年は、世界中に新型コロナウイルスが蔓延し、私たちにとっても感染予防策としての非日常化した生活が日常になりつつあります。常に3密（密閉・密集・密接）回避を意識し、マスク着用と手洗いやうがいが習慣化し、公衆衛生上の認識が高まりました。

また、近年、地球温暖化がもたらす自然災害は年々脅威を増しています。今年も、線状降水帯の度重なる発生は、幾つもの河川の氾濫を起こし、尊い人命が奪われ、家屋の流失や土砂災害など、甚大な被害が繰り返されました。

被災者の皆様、関係する親戚縁者の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

1. 第13期ところざわ倶楽部全体の取り組みについて

今年度は、ご承知の通りコロナの影響で、どのような活動が安全に出来るかの試行錯誤の年となりました。

全体事業の取り組みは、①新会員歓迎「新春の集い」と②中村敦夫「線量計が鳴る」の朗読劇が、コロナ感染拡大ギリギリのタイミングで実施できました。

時局講演会（憲法）・文芸講座（宮澤賢治）については、講師と綿密な打ち合わせをするも、現下のコロナ禍の状況で断念せざるを得ませんでした。

「ところざわ倶楽部まつり」も、昨年緒に就いたばかりでしたが、今年は中止としました。

2. 理事会、役員会、各サークル活動の工夫について

公共施設（倶楽部が利用している公民館等）の貸出しが一時休止状態となり、サークル活動を自粛せざるを得ない状態となりました。6月後半、条件付きながら休止解除され（室定員の1/2以下、参加者名簿の提出、1コマ2時間、退出時除菌励行等）少しずつサークル活動が戻りつつある中で、感染第2波襲来の様相を示し、この状況は続いています。このような中で、理事会や役員会ははじめ、サークルに於いても活動の工夫がありました。理事会は3密を回避して航空公園で屋外開催とか、役員会はリモート会議で試行錯誤。サークルに於いては、「懐かしの映画・鑑賞会」がタイムリーなフレーズ「離れ

で繋がろう！」で、パソコンを目の前にしての夜会を開催（1弾～4弾）。賑々しく多彩な話題や情報がユーモアたっぷりにメールで飛び交いました。続いて「アジア研究会」では、Zoom オンラインミーティングで情報交換が盛んに行われました。「食を通して所沢を知る会」が、コロナ禍の中でフードバンクが逼迫している（黒田会員：フードバンク代表説明）ことを知り、倶楽部（理事会）の全サークルに呼びかけ、各サークルが呼応しカンパの取り組みを行いました。「所沢の自然と農業サークル」は、広報部の協力を得て Zoom 参加も含めて講演会を開催し、後日 YouTube でその模様が配信されました。この試行錯誤は、かつての日常が取り戻せない懸念に対して、今後、ところざわ倶楽部の活動のあり方を模索するに相応しい取り組みでした。

また、「所沢の自然と農業サークル」・「野老澤の歴史をたのしむ会」では、創設以来 10 年の歴史を刻み、その集大成として「活動の記録 10 年の歩み」の記念誌を作成されました。10 年の節目を迎えられた両サークルの皆様、おめでとうございます。

3. 市民大学とのリンクについて

今後の市民大学 OB 会「ところざわ倶楽部」を展望する時に、4 半世紀経過した市民大学の今日的課題は何か？ 更なる半世紀に向かつての展望とリンクする事、大です。課題共有のために歴代会長懇談会を開催しましたが、歴代企画委員長懇談会は、多数の出席を確認しながらもコロナ禍で延期せざるを得ず、保留となりました。これら懇談会を 14 期へ継承してまいります。

市民大学の運営も大きく変更。27 期生 2 年次の開講が半年遅れの 9 月となり、28 期は 1 年次が 1 年間繰り延べとなり、来年 6 月開講となりました。市民大学創設以来 26 期まで奇数期・偶数期が正しく循環していましたが、ここで崩れてしまいました。

また、講座運営についても 3 密回避型の模索をしながら進めている状況のようで、この点についても、今後の市民大学について OB 会として市民大学側と意見交換していきたいと思えます。

4. 会員の高齢化と新型コロナウイルス感染リスクとの狭間での取り組みについて

自宅に籠りがちとなり、ロコモ（運動器症候群）・フレイル（弱さや脆さ）・サルコペニア（筋肉減少症）或は認知症など、気力、体力、認知能力に低下を来すリスクも否定できません。ところざわ倶楽部会員は、オーラルフレイル（社会との関わり・心と体のバランス）に心して、人生 100 年時代を頑張りたいと思えます。今後、このような取り組みも検討してまいります。

最後に、会員の皆様、

総会時毎に、会員継続のご意思を確認させて頂いております。
今期は従来と違って、新型コロナウイルス感染拡大の影響で
例外中の出来事でした。現時点で終息の確認は出来ませんが、
気力・体力・筋力の低下を防ぐ意味でも、今までの倶楽部で
の気の置けない仲間との交流を途絶えさせることなく、ぜひ
頑張ってお繋がり頂きたいと願っております。

**檄文： 50、60 花ならつぼみ、70、80 働き盛り
90 になってお迎えが来たら、100 まで待てと追い返せ！**

2. 第13期 活動報告

2-1 総務部報告

総務部長 中原幹男

1. 会員動向

前12期在籍会員数は258名、退会者は33名。今13期入会者は27名で、在籍会員数は252名です。

2. サークル動向

サークル数（13期 14サークル）の増減はありません。各サークルの活動状況は、2-4サークル活動報告をご覧ください。

3. 理事会開催

11回の定例理事会を開催し、諸課題を議論しました。役員会（会長、副会長、部長、副部長で構成）は同じく11回開催しました。コロナ禍のなか公民館施設の貸出しが休止されている間、屋外で開催したり、Zoomでのオンライン会議をトライしました。

理事会構成：佐藤重松、玉上佳彦、森野辰夫、中原幹男、大木美和子、西郡貢、大西優、岡崎久子、石堂智士、中村昌彦（途中退任）、松尾基昭、仲山富夫、佐藤美津子、戸田チイ子、水上俊彦、木下みえこ、内川賢治、豊島由久、園田ヒロ子、川上紀春、岩瀬真弓、浪間扶美子（22名）

役員会構成：佐藤会長、玉上副会長広報部長、森野副会長事業部長、中原副会長総務部長、大木副会長、西郡広報部副部長、大西総務部副部長、松尾事業部副部長（8名）

4. 市民大学との連携

市民大学受講中の方々に対し、広報誌「広場」の定期配布や行事チラシの配布などで、倶楽部行事やサークル活動を紹介して参加を働きかけ、受講中から倶楽部になじみをもってもらえるよう図りましたが、コロナのため中止行事が多く、市民大学もしばらく休講していたので、積極的な勧誘が困難でした。

例年行われていた市民大学企画委員会とOB団体懇談会も、27期生向けのOB団体説明会も中止となり、10月予定の閉校式が来年3月に延期されたため、OBサークル活動展示会も中止となりました。

また、ところざわ倶楽部から提案し、開催段取りまでついていた歴代企画委員長懇談会も開催保留となりました。

そのような中、27期企画委員長の理事会出席により、市民大学の状況を把握し、今後の対応検討を続けています。

5. 第14期定期総会と映画上映会

11月25日（水）新所沢公民館ホールにて、3密回避のため人数制限（100名）開催
13時から総会。14時15分から、懐かしの映画「カルメン故郷に帰る」上映会

2-2 事業部報告

事業部長 森野辰夫

今年度はコロナ禍の為、計画したイベントは「新春の集い」以外すべてを中止せざるを得ませんでした。特別イベント「線量計が鳴る」はかろうじて開催することができました。計画したイベント内容は以下の通りです。

	開催可否	イベント名	開催日 2019年	会場（予定）	参加人員 （予定、実績）	備考
1	開催	新春の集い	1月27日	彩翔亭	65名	会員限定
2	中止	時局講演会	5月	公民館ホール	200名	
3	中止	文芸講座	6月・7月	学習センター	80名	
4	中止	ところざわ 倶楽部まつり	9月	松井公民館	300名	
5	開催	総会	11月25日	新所公民館	100名	会員限定
6	開催	特別イベント 線量計が鳴る	2月29日	中央公民館	約200名	特別プロジェクト主催

1. 新春の集い

落語 2題：水々亭めだか師匠、きさらぎ亭きらら師匠

謡曲・仕舞：竹内好夫観世流謡曲名誉師範

新年に相応しく、能楽の謡曲、仕舞、落語を楽しんだ後、新会員の皆さんを迎え懇親会を開催致しました。新会員の全員に発言して戴き大変盛り上がりました。サークル紹介は時間の都合で一部のみとなり、今後はもう少し時間が欲しいとの声がありました。

2. 時局講演会：中止

「憲法について真剣に考える」＜個人としての尊厳と人としての尊厳の違いを手がかりに＞というテーマで講演していただく予定でした。このテーマは引き続き考えるべき重要なテーマだと感じています。

3. 文芸講座：中止

宮沢賢治の講座を予定しました。宮沢賢治は根底に自然との共生という考え方をしておりました。今後も賢治から学ぶ事は多いと思います。

4. ところざわ倶楽部まつり：中止

昨年は、地元の方々も巻き込み盛大に開催されましたが、今年度はコロナ禍のため中止としました。

5. 総会

コロナ感染は終息の気配が見えませんが、人数を制限し開催致します。総会后、映画「カルメン故郷に帰る」を上映します。

6. 特別イベント

中村敦夫の朗読劇「線量計が鳴る」

生活クラブ生協・ところざわ倶楽部有志のプロジェクトチームにより開催。

コロナ感染が広まりつつある時期でしたが、主催者の開催への熱い思いで感染防止策を徹底し開催しました。コロナ禍にも関わらず多くの皆さんの関心を集め、会場はほぼ満員となりました。

2-3 広報部報告

広報部長 玉上佳彦

1. 本年度の活動

広報部は、ところざわ倶楽部の会員の情報発信ツールとして、広報紙「広場」とホームページの編集・作成作業を中心に取り組んできました。他のサークルとのコラボレーションが可能となるように、各サークルや会員の活動を幅広く公開して、相互交流を拡大・促進できるツールとして機能させてきました。

残念ながら、新型コロナウイルス感染防止のため、広場の編集会議が開催できず、やむを得ず、5月号を休止とさせていただきました。コロナ禍でもHP以外の情報発信が必要と判断して、6月号は変則的な4ページ構成の臨時号を発行しました。

7月号以降（8月号は例年通りお休み）は、元の8ページ版として発行しています。

2. 「広場」の紙面構成について

- ・「広場」は、HPをご覧いただけない方々にも見ていただける紙媒体での情報発信ツールとしての機能を果たしていると思いますので、休刊は避けるようにします。
- ・編集委員に積極的な女性が増え、現在17名の編集委員のうち7名が女性で、活発な提案によって、「みんなの広場」、「おすすめの1冊」などの新たな企画を進めてきました。
- ・2018年6月号からスタートした「戦争と平和！」シリーズは、毎号の投稿によって内容が充実し、2020年9月号で23回のシリーズを達成しました。

3. ホームページの活用

- ・HP は4月からの緊急事態宣言中も、毎週休むことなく更新して、皆様に最新情報を発信してきました。
- ・ところざわ倶楽部のHPには過去の「広場」のバックナンバーを見ることができるようになっています。これまで「索引」がなかったため、探すことが難しくなりましたが、4月にHP上に「広場」第1号からの索引を作成しました。これによって、過去13年にわたる先輩諸氏による投稿などの**貴重な記録**を検索して、見ていただくことができるようになりました。

4. Zoom オンライン講演会試行

自然と農業サークル主催の「淵野先生の講演会」Zoomによるオンライン中継を行いました。初めてのことで、トラブルもありましたが、今後いかに活用できるかを模索して過去13年にわたる先輩諸氏による投稿などの**貴重な記録**を検索できるように、ところざわ倶楽部として考えていきたいと思えます。

2-4 サークル活動報告

1. 葵の会 代表：水上俊彦 連絡先：080-6855-5868 会員数：30名

1. 本年度の方針

1月9日葵の会総会を開き新年度の活動計画を決定しました。例年どおり8月は休講とし、及川先生による講座を主体に、古典芸能鑑賞、文学散歩とお花見、及び会員の親睦を兼ねた新年会と暑気払い、秋のバス旅行等を計画しました。昨年（令和元年）7月まで及川先生の「古事記」講座を10回実施しましたが、残る部分の講義を1月より実施して頂き、その後は渡部先生の「歌舞伎」講座を予定しました。

2. 本年度の実績

1月9日（木）葵の会総会にて葵の会の年度をところざわ倶楽部と同じ11月～10月と改正し、活動計画等を決定しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大対処のため公民館が休館となり、計画した及川先生の「古事記」の講義も4月、5月は休講せざるを得ませんでした。「古事記」最終回講座は6月となり、その他の活動（古典芸能鑑賞、文学散歩とお花見、能楽鑑賞、及び暑気払い等）も中止せざるを得ませんでした。渡部先生の「歌舞伎」講座は予定より2ヶ月遅れで7月開始、10月に終了出来ました。

3. 来年度の方針

葵の会の新年度11月から及川先生の「万葉集」についての講義を予定しています。また、今年度コロナ対策のため未実施のバス旅行を実施したいと思います。

2. アジア研究会 代表：玉上佳彦 連絡先：090-2497-1076 会員数：35名

① 今年度の方針：「アジアの今を学び、今後のアジア情勢を考える」

中国、韓国、東南アジア諸国などの現状と問題点について、会員各位の調査報告、具体的問題に関する討論会、他サークルとのコラボレーションなど通して、学びを深め、草の根レベルでのアジア諸国の人々との交流・親善を図る。

② 今年度は、残念ながら新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、公民館の利用が制限され、三密を避けるため定例会を3～5月まで中止した。

その前後で、活動実績として、以下のようなものがある。

日韓問題討論会、「シンガポールの今」報告（松澤氏）、「所沢通信基地への土砂搬入」（小野塚氏）、「天津旅行報告と中国の新型肺炎」（玉上）、中村哲医師のアフガンでの活動に関する視聴と討論、Zoomでのオンラインミーティングなど

③ 新型コロナウイルスの収束が難しいので、テーマを絞って、少人数での会議やオンラインでの活動を中心に進めていくことになる。

3. 活きいきシニア福祉の会 代表：川上紀春 連絡先：090-5573-2548 会員数：17名

① 今年度の方針

- (1) 高齢者、地域福祉制度を学ぶ（活動の中心として継続）
- (2) 健康に役立つ知識を学ぶ
- (3) 所沢近隣散策、食事会等皆で楽しめる企画を検討

② 今年度の活動実績

【11月】認知症に関するDVD鑑賞と意見交換。2025年には認知症患者数は700万人前後に達し、65歳以上の高齢者の約5人に1人を占める見込みで、学習を継続。【12月】「フードバンクと子供の貧困」の講演会に聴講参加。【1月】後期高齢者医療制度について、制度概要、自己負担割合の算定及び高額療養費制度における限度額について学習。【2月】地域包括ケアシステムと在宅療養に関連して、地域包括ケアシステム制度概要及び訪問介護・診療制度について学習。【3月～5月】定例会休止。【6月】近況報告、生活する上での工夫、今後の活動計画や健康維持方法について話し合い。【7月】コロナ禍における埼玉県の医療体制（PCR検査体制・医療機関等）と問題点の学習。【9月】認知症に関するDVD鑑賞し、4分類の症状の特徴・原因と最新の治療方法等学習。

③ 来年度の方針

- (1) 国・地域福祉制度を学ぶ（重点継続）
- (2) 健康・終活に役立つ知識を学ぶ
- (3) 近隣散策等コロナ禍でも楽しめる企画を検討

4. 楽悠クラブ 代表：田村健一郎 連絡先：2949-3434 会員数：32名

① 今年度の方針

オペラを主として、クラシック、ミュージカル、ジャズ、バレエ、音楽映画など、様々なジャンルのものを鑑賞するとともに、演奏会や音楽講演会に参加する。

② 今年度の活動実績

- 1) DVD、LDによる鑑賞（月例）：月例会開始時における「発声練習&今月の曲を歌唱」
1月 男声コーラス「イル・ディーヴォ ライブ・イン・ジャパン 1918」21名参加
2月 歌劇 レオン・カヴァッロ 歌劇「道化師」26名参加 3月、4月、5月は、コロナ自粛で定例会中止、6月、7月は、公民館使用時間制限の為定例会中止、8月は休会
9月 ベートーヴェン生誕250年特集、「ベートーヴェンの生涯 記録映画」「第九・歓喜の歌 フルトヴェングラー指揮」19名参加 10月 歌劇 チャイコフスキー「スペードの女王」17名参加 11月 「ジャズ&ポピュラーを楽しむ」予定
- 2) その他の活動
3月のコンサート鑑賞「2020 都民芸術フェスティバル」「オーケストラの日」は中止

③ 来年度の方針

月例会では、今年度実施出来なかった演目を含めて、オペラ、クラシックに加え、ジャズ、バレエなど様々なジャンルの音楽を鑑賞するとともに、演奏会や音楽講演会に参加する。

5. 食を通して所沢を知る会 代表：木下みえこ 連絡先：090-7272-6752 会員数：11名

① 今年度の方針

- ・講演会や料理実習など所沢の「食」についての知識を深める。 ・会員相互の親睦と情報交換 ・地域貢献として「もったいない」を「ありがとう」へ、フードバンク支援協力

② 今年度の活動実績

9月末まで

- ・ポールスタア工場見学（東村山市） ・「食トコメール掲示板」での交流会 ・屋外（航空公園での意見交換） ・「学校給食を考える」の勉強会 ・「Zoom ミーティングへの参加 ・定例会 2回 ☆☆☆ ところざわ倶楽部の皆様からはコロナ禍の中、フードバンクへ温かいご支援ご協力をいただき心から感謝申し上げます。☆☆☆

10月以降の予定

- ・講演会「所沢の食の歴史」講師：深井醤油取締役 深井隆正氏（Zoom でのオンライン配信） ・講演会「食物繊維の話」講師：玉上佳彦氏（Zoom でのオンライン配信） ・忘年会でのミニ講演（ワインの基礎知識） ・定例会 1回

③ 来年度の方針

- ・新型コロナウイルス感染拡大で中止になった活動の再開 ・地域貢献を模索する

6. 地球環境に学ぶサークル 代表：中島 峯生 連絡先：2928-1161 会員数：12名

1. 今年度の方針

- ① 環境・エコ関連施設、設備、展示会等の見学会実施
- ② 温暖化への適応策、再エネ普及、廃プラごみ等環境関係の学習情報、内容を適宜「広場」、ホームページで発信する。また、関連講座の開催を検討する。
- ③ 生ごみの処理については、近隣市町とも連携し継続していく。

2. 今年度の活動実績

- (1) 見学会：①所沢市民ソーラー山宇農園ソーラーシェアリング発電所見学 2/18
- (2) 講演会：①DVD 映画「モルゲン・明日」各自鑑賞 ②朗読劇中村敦夫「線量計が鳴る」 2/29 支援 ③環境講演会「海洋プラスチック問題が私たちに及ぼす影響」 11/21 支援
- (3) サークル活動報告として HP に掲載し発信した ①「COP25 と日本」 12月 ②「SDGs について」 1月 ③「プラスチックごみまとめ」 3月 ④「コロナの次はバッタの脅威が迫っている」 4月 ⑤「レジ袋の適正価格」 6月 ⑥「グレタさんについて」 7月

- 3. 来年度の方針** ①環境関連見学会、第五福竜丸、東部クリーンセンター他、コロナ禍の状況で予防に留意し実施 ②温暖化の現状、緩和策・適応策、再生エネルギーの普及状況、廃プラ、ゴミ等の状況・動生物への影響等を定例会で討論、学習し情報として HP に掲載し発信する。③ごみの処理については、近隣市町とも連携し継続する。

7. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会 代表：田口元也

連絡先：090-9820-5668 会員数： 8名

1. 今年度の方針

- ① 定年後も健康で豊かな生きがいのある生活をめざす。
- ② シニア世代の社会参加による元気なまちづくりをめざす。
- ③ 仲間どうしの助け合い・支え合いで健康寿命の延伸をめざす。

2. 今年度の活動実績

- ・「市政ひよこ塾」の開催：防災関連の講座を企画・予定したが中止とした。
- ・定例会の開催：コロナ禍において会員相互の情報交換・交流を深める。
- ・市民活動支援センター登録団体として交流活動：センター主催の連絡会議に出席。
- ・所沢市福祉部高齢者支援課並びに社協主催による「地域ケア代表者会議」に出席。
- ・SP活動による社会参加：3月以降恒例の行事は中止 自主練習を7月より再開。

3. 今後の活動予定

- ① 「なんでも塾」「市政ひよこ塾」の開設；学習活動・交流会などを開催。
- ② シニアサロンの開設：なんでも話し合える「たまり場」を開設。
- ③ 関連サークルとの交流：諸課題の共有化をはかり連携した活動を展開。
- ④ SPの活動の拡大：市主催の行事参加、老人ホームなどの施設訪問。

8. 所沢の自然と農業 代表：稲村洋二 連絡先：2992-1751 会員数： 29名

(1) 今年度の方針

- *里山保全活動を継続して行う（トトロ 21号地、柳瀬荘黄林閣の整備、落ち葉掃き）
- *市民大学ファーム、山田ファームでの野菜づくりを継続する。*
- ところざわ倶楽部まつり参加と発表。10周年記念誌の作成*
- 健康増進と体力づくりのハイキング実施。

(2) 今年度の活動実績

- *新型コロナのため、定例会、トトロ 21号地、黄林閣の活動は3月～5月の間中止。6月より定例会（人数限定）、黄林閣は活動開始した。トトロ 21号地は8月に再開。10周年記念誌を完成させた。8月13日に淵野先生の講演会を実施した。
- リンゴ農園のボランティアはコロナの為中止。市大ファーム、山田ファームの野菜づくりは感染防止対策をとりながら活動を継続した。

(3) 来年度の方針

- *年間の活動計画は今年度と変わらないが、コロナの状況によってはまた活動を自粛せざるを得ない。

9. 野老澤の歴史をたのしむ会 代表：大舘 徹 連絡先：2924-3010 会員数：45名

1. 今年度の方針

例年と同じように月2回の活動計画立てる。屋内活動数回（講師を迎えての歴史講座、新春料理教室、伝統工芸品の講習など）、他は野外活動として神社、仏閣の歴史散策及び郷土博物館などの見学を主体とする。秋のバス旅行（歴史探訪）

2. 今年度の活動実績

例年通り月2回の活動計画実施に向け1～2月は食の文化料理講習と新設された所沢七福神巡りをいち早く回り、木村先生の武蔵野新田開発歴史講座を受け順調に進んできた。3月からは新型コロナウイルス感染拡大防止の外出自粛、緊急事態宣言、三密防止を、各活動計画毎に感染予防対策を考慮して実施可能かの検討をしてきたが相次いで中止となった。その時期での10周年の歩みの編集は3ヵ月程遅れはしたが無事に発行することができた。後半に入る10月からは感染防止対策を講じながら活動実施に向けてゆく。

3. 来年度の方針

月2回の活動実施を目標とする。本年度中止になった活動計画を復活させる。毎年続けている講師を迎えての所沢の歴史講座で学びを深める。節目の10周年の歩みを理解して今後の歴史探訪の楽しみ方を更に広げて行く。会員数が増えて来てる中で全員の親睦を深められるような活動を検討する。秋のバス旅行で遠方への歴史探訪。

10. ドラマティック・カンパニー 代表：高橋信行

連絡先：090-9393-6238 会員数：12名

① 方針

- ・月例会の開催維持
- ・作品読了後、配役を決めて本番さながらの朗読劇を実施。講師からご批評・ご指導を頂くこと。

② 活動実績

- ・毎月2回の例会は2020年2/22を最後に新型コロナウイルス禍の為休会を余儀なくされたが9月より会場人数制限をクリアして再開。
- ・作品朗読は、前年からの「リチャード三世」が6か月の休会を挟んで9月に読了。続いて「リチャード二世」を開始。
- ・今期は配役を決めての「朗読劇」は実行できなかった。

③ 今後の方針

- ・基本方針に変更なし（定例朗読会の継続実施）
- ・朗読終了後の「朗読劇」のサークル内発表を実施→表現力向上。

11. 懐かしの映画・鑑賞会 代表：二上拓夫 連絡先：080-1250-6151 会員数：37名

① 今年度の方針

例年同様月2回の上映会を目指す。暮らしの歳時記。川越スカラ座 無声映画。
ところざわ倶楽部まつり参加。所沢 JAZZ フェスティバル他参加。

② 今年度の活動実績

例年通り2回/月の上映会の計画を立てる。
1月男はつらいよ。2月ウエストサイド物語。のぼうの城。
3月駅馬車。ザ・マジックアワー 雛祭り中止 桜並木で写真
以後4月～8月迄コロナ感染拡大にて中止。
休止中にオンライン夜会「離れて繋がろう」を4回開催。
9月再開。9月鳥。天国と地獄。10月ナイヤガラ。東京家族。
11月007は二度死ぬ。源太郎舟 年度纏め会。12月忠臣蔵。

③ 来年度の方針

基本の方針に変更なし。
暮らしの歳時記
コロナ感染拡大を見ながら実施。

12. 脳活サークル 代表：加曾利厚雄 連絡先：2939-2308 会員数：15名

新型コロナウイルスの対応をしながら、活動を行う。活動の基本方針を「健康寿命をいかに延ばすか」をベースにして、認知症に関連した行事を進めていく。

<活動実績を主体に示す：活動日は第4月曜日>

令和1年度	活動内容	講師・参加者
11月23日(土)	石坂産業見学	11名
12月9日	音楽療法：先生の指導で歌ったり、踊ったりする	佐井先生 45名
1月20日	落語観賞(池袋演芸場)	11名
2月17日	認知症関連プレ(ユマニチュード)	14名
3月23日	コロナのため中止	
令和2年度	活動内容	講師・参加者
4月27日	コロナのため中止	
5月25日	コロナのため中止	
6月22日	総会：今後の進め方の話し合い	13名
7月23日	埼玉県の3偉人のプレ：会員3名	講師：会員 15名
9月29日(火)	フラワーアレンジメント	講師：会員 11名
10月25日(日)	彩の森公園バーベキューほか	10名

<「認知症にならない私生活を身に付ける」をモットーに遊びながら学んでいく>

13. 傍聴席 代表：石堂智士 連絡先：2947-0835 会員：19名

① 今年度の方針（来年度の方針も同じ）

「傍聴席」は所沢市の市議会を傍聴し、市政と市政に関する身近な問題を幅広く仲間と話し合い考えます。またブログ「傍聴席」を通して伝えることを目的にしています。

② 今年度の活動実績・活動計画

- 1. 11. 18 「所沢市における地域公共交通政策(経緯の概要)」村瀬氏
 - 1. 12. 17 「所沢市公共施設等総合管理計画」公共施設 M 問題の学習会 2 回目
 - 2. 01. 20 「傍聴席総会」各種報告・役員改選、「地域公共交通政策」学習会 2 回目
 - 2. 02. 17 「入間市公共施設マネジメント事業計画」公共施設 M 問題 3 回目
 - 2. 03. 16 コロナウイルス感染予防のため自主的に休会
 - 2. 04. 20 コロナウイルス感染予防の緊急事態宣言で公民館使用中止
 - 2. 05. 18 公民館使用中止が継続、村瀬氏が「地域公共交通政策」の自由意見募集
 - 2. 06. 15 「地域公共交通政策」予定延期、自由討議（10 万人当り感染者数など）
 - 2. 07. 20 「地域公共交通政策」の自由討議、村瀬氏
 - 2. 09. 23 埼玉県出前講座「保健所のしごと」保健医療政策課
 - 2. 10. 19 出前講座「所沢市の公共交通政策」経営企画部企画総務課を予定
- 今年の参加者は 10～16 人です。ブログは昨年 8 月にライブドアブログへ変更しました。

14. 民話の会 代表：仲山富夫 連絡先：090-3902-0283 会員数：8名

① 今年度の方針

児童館・小学校三年生の授業(現在 5 校を 6 校へ)、各種老人施設で民話の会を実施
オリジナル民話を創作(目標 2 話)
ところざわ倶楽部まつりへ参加
会員を募り、2 チーム体制を目指す

② 今年度の実績

1～2月に、小学校三年生の授業(テーマは「ふるさとを知る」)を実施
所沢・南・上新井・明峰・牛沼小学校の 5 校
オリジナル民話「たにしのやせ我慢」を創作
ところざわ倶楽部の支援で、民話の会の横断幕が出来た(ボランティア活動時会場へ掲示)
* 3月以降のボランティア活動は、新型コロナウイルス感染防止のため全て中止

③ 来年度の方針

児童館・6 小学校三年生の授業・各種老人施設で民話の会を実施
新しい民話を創作
会員を募り 2 チーム体制を目指す

3. 第13期 会計報告および監査報告

(2019年11月1日～2020年10月31日)

《収入の部》

(単位円)

項目	予算	決算	増減	備考
前期繰越金	194,072	194,072	0	
会費	520,000	504,000	△16,000	13期在籍252名×2,000円
会報郵送費	32,000	24,800	△7,200	31名×800円
講座受講料	135,000	0	△135,000	今期開講せず
雑収入	30,000	67,567	37,567	新年会51名30,600円、中村敦夫朗読劇還元36,967円
合計金額	911,072	790,439	△120,633	

《支出の部》

(単位円)

項目	予算	決算	増減	備考
講演会講師謝礼	186,000	36,000	△150,000	新春の集い21,000円、講演15,000円
会場費	190,000	55,630	△134,370	理事会、総会、編集会議、新春の集い
振込手数料	5,000	6,112	1,112	会費・郵送料振替手数料
会報発行費	30,000	35,021	5,021	「広場」用紙・印刷・インク代
会報郵送費	40,000	27,804	△12,196	「広場」送料(希望者・特別会員)
通信費	30,000	17,724	△12,276	総会案内はがき、総会資料送料
	15,000	15,000	0	正副会長連絡事務費
事務費	115,000	31,601	△83,399	事務用品購入費、印刷代等
サークル補助費	118,000	81,990	△36,010	活動補助費14サークル70,000円 民話の会横断幕製作11,990円
IT費	32,000	78,205	46,205	HPサーバ使用料16,632円、ウイルスソフト代&更新料23,790円、Zoom年間契約14,484円、Zoom対応備品23,299円
雑費	30,000	35,580	5,580	新春懇親会33,980円、過入金返却1,600円
予備費	90,000	85,599	△4,401	サークル特別補助金70,000円、体温計5,599円、フードバンク支援10,000円
次期繰越金	30,072	284,173	254,101	
合計金額	911,072	790,439	△120,633	

上記のとおり報告いたします。

2020年10月31日 総務部部长 中原幹男 ㊞ 会計 大西 優 ㊞ 岡崎久子 ㊞

《監査報告》

ところざわ倶楽部(2019年11月1日～2020年10月31日)の会計書類について監査を行い、報告書は2020年10月31日現在の財産および収支状況を適正に表示していることを認めます。

2020年11月6日 会計監査 田村健一郎 ㊞ 遠山とも子 ㊞

4. 第14期役員改選（案）

No	期	氏名	第14期役職	理事	第13期役職	推薦母体及びサークル
1	21	佐藤 重松	会長	留任	会長	理事会推薦
2	17	森野 辰夫	副会長事業部長	留任	副会長事業部長	理事会推薦
3	20	玉上 佳彦	副会長広報部長	留任	副会長広報部長	理事会推薦
4	20	中原 幹男	副会長総務部長	留任	副会長総務部長	地球環境に学ぶ
5	23	大木 美和子	副会長	留任	副会長	ドラマティック・カンパニー
6	25	松尾 基昭	事業部副部長	留任	事業部副部長	アジア研究会
7	22	大西 優	総務部副部長	留任	総務部副部長	所沢シニア世代地域デビュー支援の会
8	15	仲山 富夫	事業部担当理事	留任	事業部担当理事	民話の会
9	16	薄井 文子	事業部担当理事	再任		脳活サークル
10	19	岡崎 久子	事業部担当理事	留任	総務部担当理事	理事会推薦
11	22	西郡 貢	事業部担当理事	留任	広報部副部長	所沢の自然と農業サークル
12	22	水上 俊彦	事業部担当理事	留任	事業部担当理事	葵の会
13	23	内川 賢治	事業部担当理事	留任	事業部担当理事	懐かしの映画・鑑賞会
14	24	栗屋 貴夫	事業部担当理事	新任		野老澤の歴史をたのしむ会
15	24	菊池 一栄	事業部担当理事	新任		楽悠クラブ
16	25	梅津 博紀	事業部担当理事	新任		理事会推薦 27期企画委員
17	19	園田 ヒロ子	広報部担当理事	留任	広報部担当理事	理事会推薦
18	23	川上 紀春	広報部担当理事	留任	広報部担当理事	生きいきシニア福祉の会
19	25	浪間 扶美子	広報部担当理事	留任	広報部担当理事	理事会推薦
20	17	石堂 智士	総務部担当理事	留任	総務部担当理事	傍聴席
21	23	木下 みえこ	総務部担当理事	留任	事業部担当理事	食を通して所沢を知る会
22	19	遠山 とも子	会計監査	留任	会計監査	理事会推薦
23	20	田口 元也	会計監査	再任		理事会推薦

退任理事：中村昌彦、佐藤美津子、戸田チイ子、豊島由久、岩瀬真弓

退任会計監査：田村健一郎

5. ところざわ倶楽部第14期活動方針（案）

＜時代や社会情勢に応じた柔軟な活動スタイルを＞

ところざわ倶楽部 会長 佐藤 重松

13期は、新型コロナウイルス感染拡大の多大な影響を受け、活動の中止や停滞を招き、会員の皆さんの自粛生活、巣籠り状態が続きました。それらを解消すべく様々な取り組みが試行錯誤され、14期に取り組むべき活動スタイルのバリエーションが見えて来ました。13期の課題を引き継ぐと共に、まだ続くであろう“コロナ禍”の中で、安全で安心な運営を具体化し、柔軟に取り組んでいきます。

14期活動は、非日常が常態化していく現実のなかで、今後のところざわ倶楽部のあり方や方向性を見定める重要な一年と位置づけ、運営して参ります。

1. 全会員をつなぐ事業計画は、コロナ禍の状況下で創意工夫を重ねて進めます。
基本的には会員相互のふれあいを土台としつつ、感染者を出さない細心の注意をはらい、事業部の実施計画に基づき理事会及び事業部が推進役となりながら、関連するサークルとの連携ですすめ、全会員交流の場づくりをします。
開催方法については、広報部の支援を得ながら、各種集会や講演会或は文芸講座など3密回避を前提としたWeb会議システムZoomやYouTubeを使用したオンライン配信と、会場でのライブ参加を併用する二元的方法で、全会員がどの方法を選択しても参加が可能な状態を実現していきます。
2. 13期課題の、ところざわ倶楽部歴代会長懇談会や市民大学歴代企画委員長懇談会等を再開し、市民大学の継続発展がところざわ倶楽部の継続発展とリンクすること大であると考え、引き続き取り組んでいきます。
3. 会員の高齢化について、その現実を踏まえた“共助”の取り組みの必要性は増々高まっています。“自助”の努力が第一としつつも健康維持に心しながら高齢期の様々な状況に対応する知恵と、関係する機関とつながる情報の共有化を福祉関連サークルの協力を得ながら引き続き進めます。

最後に、第14期修了生の皆様のご尽力によって「ところざわ倶楽部」が創設され、毎年、各期の方々の熱意と努力が積み重ねられ、他に類を見ない素晴らしい倶楽部を創り上げて来られました。リタイア後の「生涯学習とサークル活動」、「愉快的交流の場」を築かれて来ました。それらを継承しつつ、その時代に相応しい新たな取り組みを創造していくためにも、運営に携わる人的新陳代謝を避けて通ることは出来ません。自薦他薦どちらでも、ところざわ倶楽部運営に積極的に携わって頂けますよう、お願い申し上げます。

6. 第14期活動計画（案）

6-1 事業活動計画（案）

事業部長 森野 辰夫

1. 活動方針

新型コロナ禍の終息はまだ当分見通せる状況になく、従来型の大人数が集まるイベント開催は難しいと考えています。その為、会場に人数制限のある中で3密を回避し、コロナの感染状況に応じて小規模なイベントの開催を検討します。

更に、従来の活動に変わるものとしてZOOMやYouTube等のIT手段を活用した新たな活動形態を広報部と連携しながらプロジェクト体制を構築して対応していきます。

具体的には、各サークルで開催するイベント・活動状況や講演会、講座等をオンラインや動画を使用して配信する企画を検討します。

ただ、活動全般は大変見通し難い状況にあることから、万全の準備を整え情勢を注視し、開催の判断をしていきます。皆さまのご協力・ご理解宜しくお願い致します。

2. 活動計画

- ① サークル紹介：サークル主催のイベント、日常活動を倶楽部会員にZOOM・YouTube等で配信
- ② 時局講演会：コロナ禍の状況を見ながら開催を検討
- ③ 新会員歓迎チャリティーコンサート：会員限定コンサート
(会費無料とし、募金を集め福祉団体等へ寄付)
- ④ 文芸講座：例年好評なイベントですので、連続講座は会場確保の問題がありますが回数の縮小、ZOOM聴講等を交えた開催方法を検討
- ⑤ 総会

(第14期 事業計画(開催時期及び概要))

	イベント概要	時期	会場	会場人員	備考
1	サークル紹介	適宜	—	—	サークル主催イベント等
2	時局講演会	秋	ホール	100名程度	コロナ禍の状況による
3	新会員歓迎 チャリティー コンサート	春	ホール	100名程度	倶楽部会員限定 ・会費無料・募金
4	文芸講座	6、7月	—	会場による	会場連続確保困難 開催方法検討
5	総会	11月	ホール	100名	会員限定

*ところざわ倶楽部まつり：現状では3密は避けられず、開催困難と考えております。

6-2 広報活動計画（案）

広報部長 玉上佳彦

広報部は、コロナ禍の中でも、これまで同様に、各サークルや地域にて活躍されているアクティブシニアを応援する情報発信ツールとして、広報紙「広場」とホームページを充実させていきます。具体的には以下のような施策を進めていきます。

1. 活動方針

ところざわ倶楽部の理念である

- ①学習活動の継続 ②会員相互の親睦と情報交換 ③学びを地域に活かす
④ネットワークづくり

を念頭に、ところざわ倶楽部の広報媒体としての広報紙「広場」とホームページにて、的確かつタイムリーな情報発信に注力していきます。

2. 編集体制の強化

- ・ 広報部担当理事だけでなく、経験豊富な編集委員の参加により、編集体制の強化を図り、特に女性の編集委員の新企画にもとづいて、女性会員が気楽に投稿できる体制を進めていきます。
- ・ 前年度と同じく、役員の編集会議への参加を要請し、ところざわ倶楽部各部の活動方針との整合性をもたせるようにいたします。

3. 広報紙「広場」

- ・ 原則として、従来どおりの8ページ構成の紙面の月刊紙として発行し、HPの閲覧ができない会員への情報提供媒体とし、市民大学受講生や各公民館への配布も継続していきます。
- ・ 一昨年6月号から続いている「戦争と平和！」シリーズは、これからも継続して掲載する予定で、投稿を募集しています。今後は、過去の戦争の歴史を活かして、世界の平和を希求する投稿をお願いし、皆様で、将来の平和を考える一助にしたいと思います。
- ・ 本年4月に作成した「索引」の利用を促進し、2007年の第1号からの先輩諸氏の活動の歴史を振り返ることをお勧めします。

4. ホームページ

- ・ 新型コロナウイルスと共存するためには、ネットを活用した最新の情報発信が必須の課題と認識していますので、毎週滞りなく更新していく予定です。
- ・ 双方向の情報発信を可能としていますので、皆様からのHPへの投稿をお願いします。

- ### 5. Web会議システム Zoom や YouTube などのネットを活用して、事業部と連携して、新たな時代のところざわ倶楽部としてのプロジェクトチーム体制で、活動を模索していきたいと考えております。

7. 第14期 予算案

(2020年11月1日～2021年10月31日)

《収入の部》

(単位円)

項目	前13期決算	14期予算	増減	備考
前期繰越金	194,072	284,173	90,101	
会費	504,000	520,000	16,000	260名 X 2,000円
会報郵送費	24,800	24,000	△800	30名 X 800円
講座受講料	0	70,000	70,000	文芸講座 一般 20X2,000 会員 20X1,500
雑収入	67,567	0	△67,567	
合計金額	790,439	898,173	107,734	

《支出の部》

(単位円)

項目	前13期決算	14期予算	増減	備考
講演会講師謝礼	36,000	150,000	114,000	新会員歓迎コンサート、講演会、講座
会場費	55,630	171,000	115,370	総会、コンサート、講演会、講座、理事会等
振込手数料	6,112	7,000	888	会費・「広場」送料ゆうちょ振替手数料
会報発行費	35,021	40,000	4,979	「広場」(印刷代・用紙・封筒・印刷代等)
会報郵送費	27,804	40,000	12,196	「広場」送料(郵送希望者・特別会員)
通信費	17,724	25,000	7,276	総会資料送料等
	15,000	15,000	0	正副会長連絡事務費
事務費	31,601	115,000	83,399	チラシ・ポスター・レジメ印刷代・コピー用紙封筒・総会花代等
サークル補助費	81,990	70,000	△11,990	活動補助費(14サークル)
IT費	78,205	62,000	△16,205	HPサーバ使用料、ウイルスソフト関係、Zoom関係
雑費	35,580	0	△35,580	
予備費	85,599	50,000	△35,599	コロナ感染症対策費ほか
次期繰越金	284,173	153,173	△131,000	
合計金額	790,439	898,173	107,734	

総務部長 中原幹男

【 メ モ 】



ところざわ倶楽部